

日本の気候変動対策を世界の最前線へ —クリスティアナ・フィゲレス氏（前 UNFCCC 事務局長）を招いて—

2019年2月12日（火）14:00-17:30 / 虎ノ門ヒルズフォーラム ホール B
主催：気候変動イニシアティブ（Japan Climate Initiative; JCI）

【プログラム】（敬称略）

開会あいさつ

森澤 充世 CDP ジャパン ディレクター

特別講演 パリ協定がもつめる脱炭素革命と日本への期待

クリスティアナ・フィゲレス ミッション 2020 議長 / 前国連気候変動枠組条約 事務局長

講演 1 日本を ESG 先進国に ～脱炭素ビジネス大国に向けて～

水野 弘道 国連責任投資原則協会（PRI）理事
年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）理事兼 CIO

講演 2 長期戦略をとりまく世界の動向

高村 ゆかり 東京大学サステナビリティ学連携研究機構（IR3S）教授

（休憩）

来賓挨拶

菅沼 健一 外務省 気候変動交渉担当政府代表
森下 哲 環境省 地球環境局長
松山 泰浩 経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部長

パネルディスカッション 日本の長期削減戦略に求められるもの

モデレーター：

大野 輝之 公益財団法人 自然エネルギー財団 常務理事

パネラー：

金井 司 三井住友信託銀行 経営企画部 フェロー役員 チーフ・サステナビリティ・オフィサー
河本 光明 住友化学株式会社 レスポンスブルケア部 気候変動対応 担当部長
高村 ゆかり 東京大学サステナビリティ学連携研究機構（IR3S）教授
和賀井 克夫 東京都 環境局長

閉会あいさつ

末吉 竹二郎 気候変動イニシアティブ代表 / 国連環境計画・金融イニシアティブ 特別顧問

司会：田中 健 WWF ジャパン 気候変動・エネルギーグループ オフィサー

閉会後にレセプションを開催します。

（17:45～/ 参加費無料 / 同会場ホワイエ）

登壇者発表資料および記録映像を、後日 JCI ウェブサイト（<http://japanclimate.org/>）のお知らせページにて公開予定です。

【登壇者】(敬称略)

開会あいさつ



森澤 充世 (Michiyo Morisawa) CDP ジャパン ディレクター

CDP 事務局ジャパンディレクター、PRI グローバルネットワーク&アウトリーチ ジャパンヘッドを兼務。シティバンク等で金融機関間決済リスク削減業務に従事後、2006年 CDP の世界的拡大に伴い、日本担当として CDP に参加する。2010年 PRI の日本ネットワーク創設にあたり、日本の責任者として参加する。東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了、博士(環境学)

特別講演



クリスティアナ・フィグレス (Christiana Figueres)

ミッション 2020 議長/前国連気候変動枠組条約 事務局長

世界気候変動の分野で世界的に認められるリーダーとして、2010年から2016年にかけて国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) の事務局長を務めた。2016年には2020年にピークを迎える温室効果ガスの排出削減と安定と繁栄の時代の構築に向け Mission 2020 を招集した。その他、Global Covenant of Mayors 副議長、世界銀行における気候変動担当リーダー、Conservation International の特別上席フェロー等、多数の役職を務めている。

講演 1



水野 弘道 (Hiro Mizuno)

国連責任投資原則協会 (PRI) 理事 / 年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) 理事兼 CIO

住友信託銀行入社後、日本国内、シリコンバレー、ニューヨーク等で投融資業務に従事。2003年よりロンドンのプライベート・エクイティ・ファンドであるコラーキャピタルのパートナーを務める。2015年1月、年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) の理事兼 CIO に就任。2017年 国連責任投資原則協会 (PRI) の理事に就任。内閣官房健康医療戦略参与、パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略策定に向けた懇談会委員などとしても活動。

講演 2 / パネリスト



高村 ゆかり (Yukari Takamura)

東京大学サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S) 教授

島根県出身

島根県立松江北高等学校卒

京都大学法学部卒

一橋大学大学院法学研究科修士課程修了

静岡大学助教授、龍谷大学教授、名古屋大学教授などを経て現職

モデレーター



大野 輝之 (Teruyuki Ohno) 公益財団法人 自然エネルギー財団 常務理事

2013年11月より現職。「長期低炭素ビジョン」など国の気候変動対策の策定に関わる検討会委員を務める。1979年 東京都入庁。都市計画局、政策報道室などを経て、1998年より環境行政に関わる。「ディーゼル車 NO 作戦」の企画立案、「温室効果ガスの総量削減と排出量取引制度」の導入など、国に先駆ける東京都の環境政策を牽引し、都のエネルギー政策の根幹を作る。2010年7月から3年間、環境局長を務める。東京大学非常勤講師。ソウル国際エネルギー諮問委員会委員。イクレイ日本顧問。公益財団法人世界自然保護基金ジャパン理事。東京大学経済学部卒。2014年、カリフォルニア州からハーゲンシュミット・クリーンエア賞を受賞。

パネリスト (50音順)



金井 司 (Tsukasa Kanai)

三井住友信託銀行 経営企画部 フェロー役員 チーフ・サステナビリティ・オフィサー

1983年大阪大学法学部卒業、同年住友信託銀行に入社しロンドン支店、年金運用部を経て、2005年より企画部・社会活動統括室 CSR 担当部長。2012年より三井住友信託銀行経営企画部・CSR 担当部長。2018年4月よりフェロー役員 チーフ・サステナビリティ・オフィサー。同社グループのESG投資を含むサステナビリティ業務全般を統括する。「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則」運営委員、同「持続可能な地域支援ワーキンググループ」座長他。著書に『戦略的年金経営のすべて』『CSR 経営と SRI』『自然資本入門』等 (いずれも共著)



河本 光明 (Mitsuaki Komoto)

住友化学株式会社 レスポンシブルケア部 気候変動対応 担当部長

1984年に京都大学工学部卒業後、経済産業省、製品評価技術基盤機構などを経て、現在、住友化学株式会社において気候変動問題への対応を担当。



和賀井 克夫 (Yoshio Wagai) 東京都 環境局長

1983年東京都入庁。病院経営本部、行政改革推進室等を経て、2010年環境局に異動。2012年までの間、都市地球環境部長として、温室効果ガスの総量削減と排出量取引制度（東京キャップ&トレード制度）の第1計画期間の施行や再生可能エネルギー政策の構築に取り組む。2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響に伴う節電対策において重要な役割を果たした。環境局次長、議会局長を経て、2017年より現職。ゼロエミッション東京の実現に向けて、東京キャップ&トレード制度やゼロエミッション・ヴィークル (ZEVs) の普及など、東京の先駆的な気候変動対策の運用や施策の強化に取り組んでいる。

閉会あいさつ



末吉 竹二郎 (Takejiro Sueyoshi)

気候変動イニシアティブ代表 / 国連環境計画・金融イニシアティブ特別顧問

東京大学を卒業後、1967年に三菱銀行（現 三菱東京UFJ銀行）に入行。1998年まで勤務した。日興アセットマネジメントに勤務中、UNEP 金融イニシアチブの運営委員メンバーに任命された。現在、アジア太平洋地区の特別顧問として UNEP 金融イニシアチブの活動を支援する傍ら政府や地方自治体の審議会委員などを務める。2018年9月には公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン 会長に就任。この他、セミナーや講演会、大学での授業などを通じて環境問題や社会的責任 (CSR)、社会的責任 投資 (SRI) についての講演等を行う。